

情報家電等に必要な機能

情報家電等(NonPC端末)を利用して、簡単かつセキュアにサービス利用可能とするために、以下の機能が必要

■ネットワーク連携による“Easy Setup”の実現

～ NWから設定情報をダウンロードし設定を自動化。

■認証の簡素化による煩雑さの解消

～ 機器認証をISPの各種サービスと紐付けすることで、サービス利用手順を簡素化。



期待される効果

・新たなユーザ層の開拓

－ インターネットの潜在ユーザの取込み。PC以外からのインターネット利用拡大。

・新サービスの登場

－ メーカーによる、機器のリモート管理、サポートサービスなど。

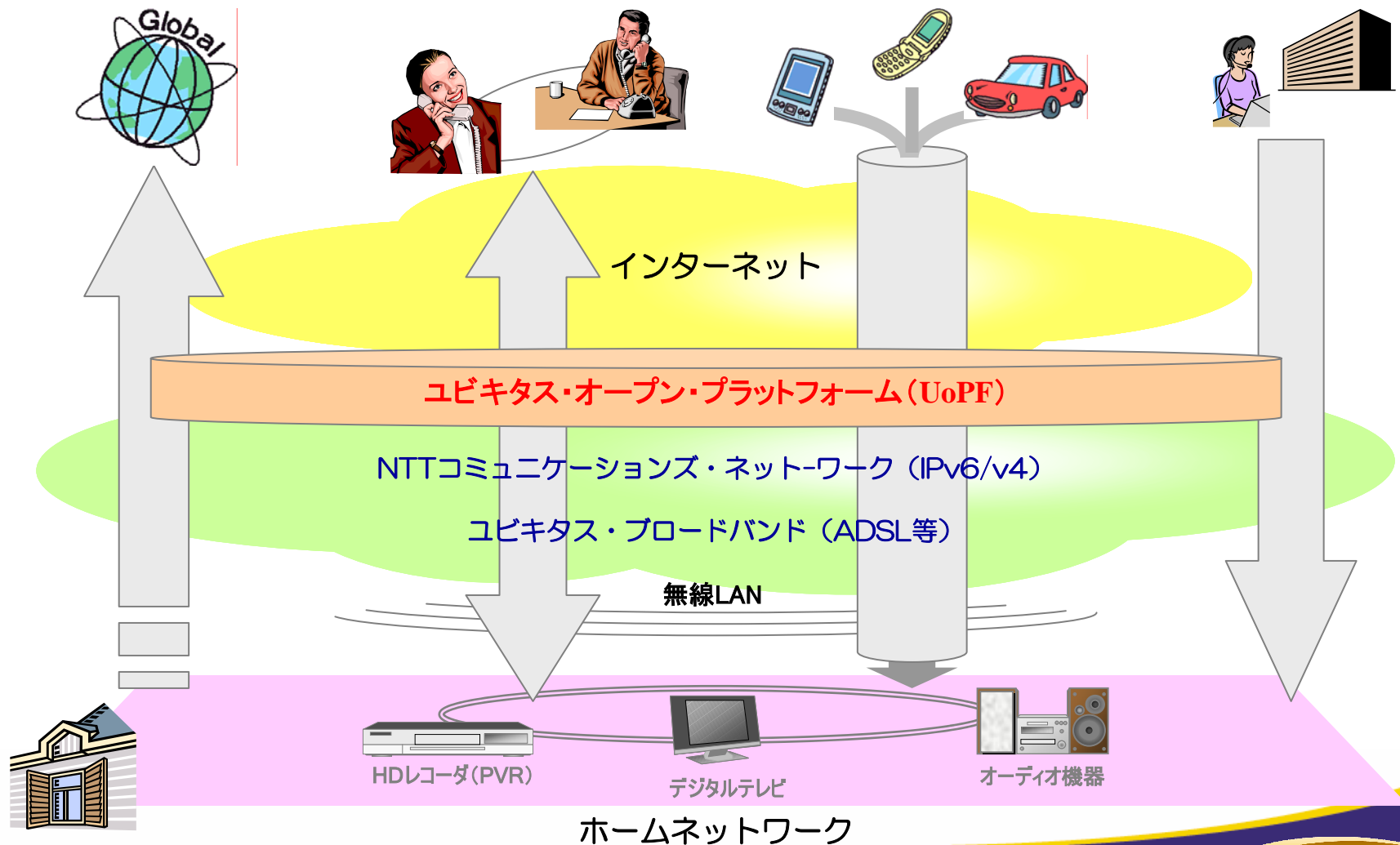
そこで “ユビキタスオープンプラットフォーム (UoPF)” !

ネットワーク接続, アプリケーション接続, コンテンツ接続の際の Easy Setup (PnP)

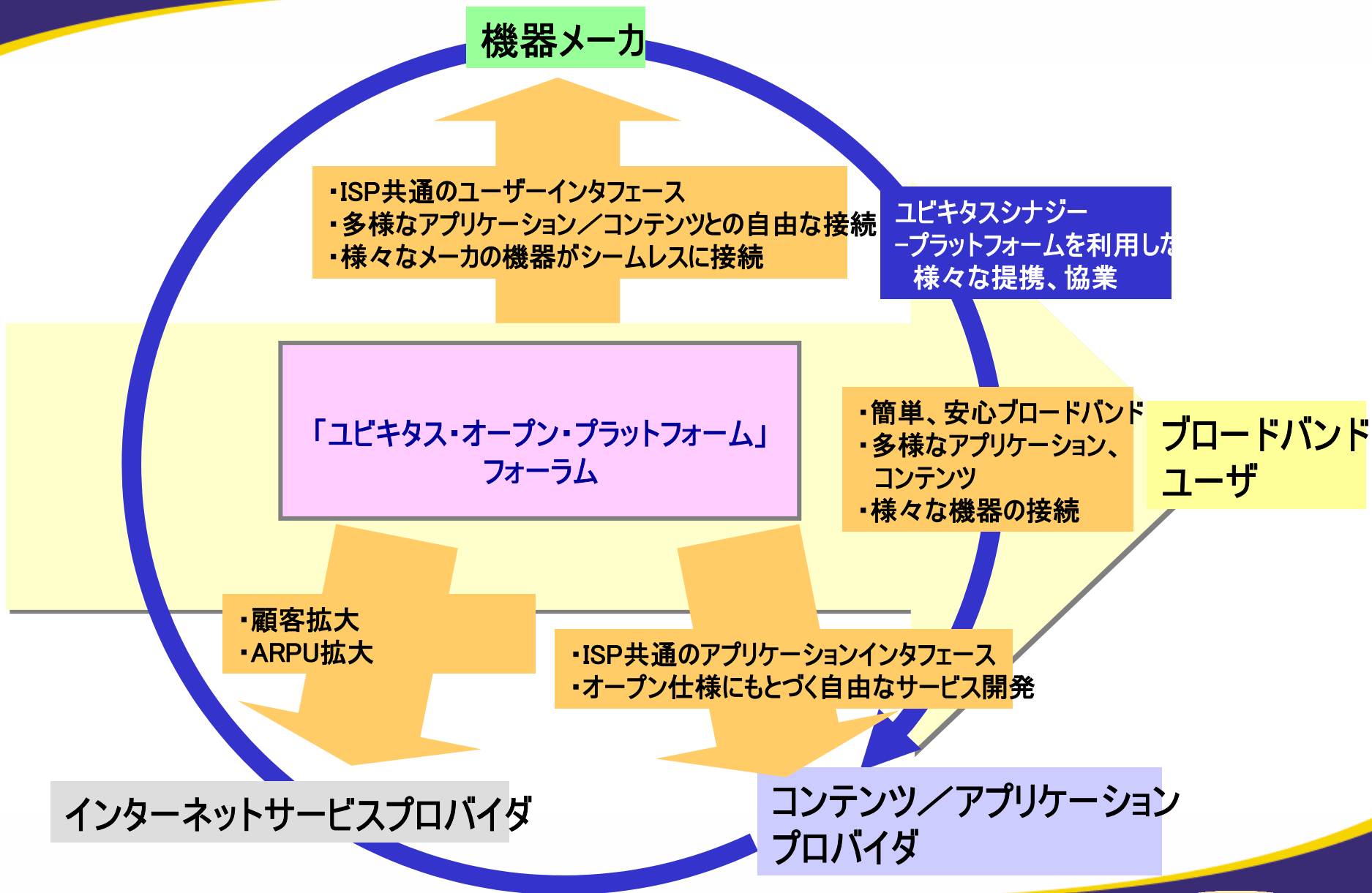
IP電話を核とした、多様なコミュニケーション・アプリケーション

外出先から自宅へのシンプル, セキュアなアクセス (家電制御, コンテンツアクセス等)

デジタル家電の遠隔メンテナンス (ファーム更新等)



<UoPF>フォーラムによるポジティブ・スパイラル



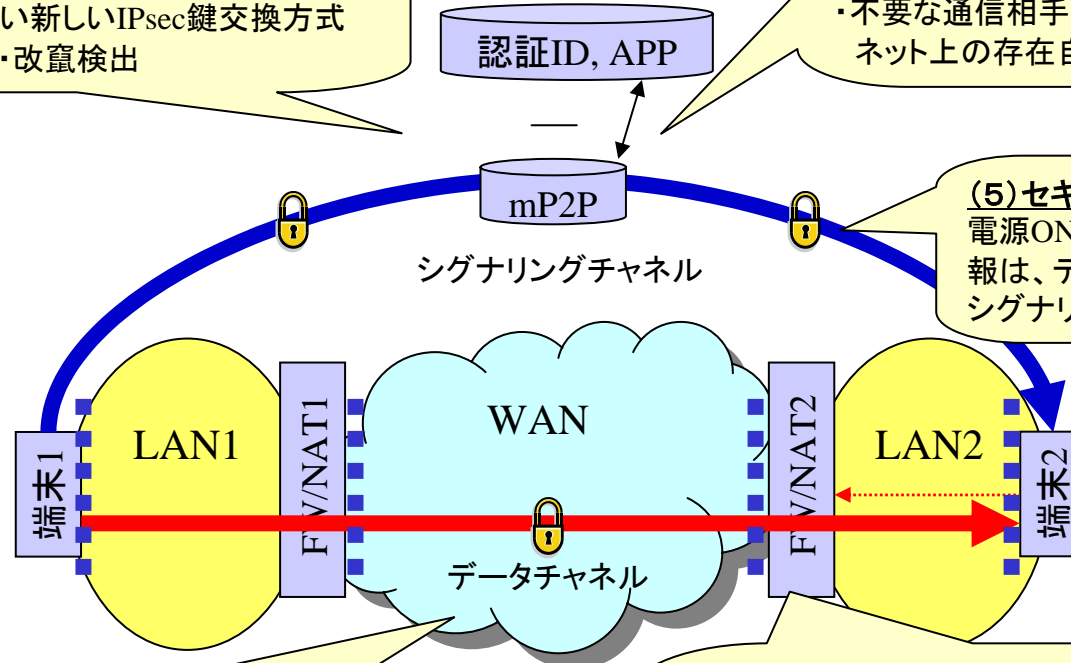
さらに “mP2P(managedPtoP)”方式の開発

(1)シグナリングチャンネルのセキュア化

- ・SIPのid/passだけで簡単にシグナリングをセキュア化するサーバ負荷が少ない新しいIPsec鍵交換方式
- ・シグナリングの盗聴防止・改竄検出

(3)セキュリティ・ポリシー管理

- ・通信許可した端末にのみ、名前解決・着信を許可
- ・不要な通信相手にはUser Unknownとしてネット上の存在自体を隠蔽



(5)セキュアな制御信号交換

- 電源ON/OFF等の簡易な制御情報は、データチャンネルを張らずにシグナリングチャンネル経由で可能

(2)データチャンネルのセキュア化

- ・セキュアなシグナリングチャンネルを利用してデータチャンネルのIPsec化の暗号化キーを簡単に交換

(4)ステルス性・FW最適制御

- 通常状態ではmP2Pサーバとのシグナリング用portしかLISTENせず、INVITE受信後に初めてデータチャンネル用portのLISTENを開始(又はフィルタ開放)

- ・フィルタの開け閉めでアクセス可否制御
- ・Port Scanにも反応せず、狙われにくい

mP2P : managed P2P

mP2Pサービス(別名:m2m モノtoモノ)の特徴

